

Work Shop (2014/06/22)

会員の皆様、

日本文化紹介Work Shopが 6月22日、午前中の雨雲を吹き飛ばしながら開催されました。

参加された会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

回を重ね、一生懸命な中にも皆さんの表情、口調に余裕が感じられ、各部署から笑い声と感嘆の声がかかるがわる聞こえてきました。

解散のあとの外国人参加者の名ごり惜しそうな様子が、Work Shopの成功を証明しているようで、嬉しいやらちょっと寂しいやらキュンとしてしまいますよね。

今回参加されなかった皆さんも次回是非参加して、温かい充実感をお土産に持ち帰っていただきたいです。そして参加された皆さんの感想をお待ちしていますが、皆さんより先にJICA参加者数名からその日のうちにいただいた感想のひとつ取り急ぎお知らせします。

今回の参加者はなんとゲスト21名、会員その他28名と言う大盛況でした。（担当幹事）



Thank you very much...surely we did enjoy ourself. It was very exciting, an "ichigo-ichie" in deed. The energetic people of IIN kept us busy and the time just passed by before we can even think of going.

Keep up the good work

Tertius Chiloane - South Africa

着付け担当より。



・時間配分については1回の手持ち時間が40分、4グループ各6名と言う大人数です。

振袖のデモと着物説明で15分、残り着付けで25分でしたが男性が多かったので女性に比べ手間が掛からず、研修生達は着物姿の写真撮影をする余裕が充分ありました。又着物を脱がせる時間10分頂いたので次の準備も出来ました。

・女性の着物 帯、と帯揚げ帯締めセットを始まる前に作っておいたので手順よく出来ました。これは毎回の事でお手伝いの会員の方達が慣れて要領をわかってきてい

るお蔭だと思えます。

・女性でお一人体格の大きな方がいらっしゃり男性のLサイズのゆかたを来て頂きました。LLサイズの着物も1枚位中古でも良いので必要なと思えます。

・使用済の男性用ゆかたと女性用 washable 着物を事前に決めておいてくださった方達が持ち帰って洗濯して下さる事になり助かりました。浴衣の洗濯を前回した人は免除して着付けの人以外の方達にも協力頂くよう手配して下さり有難かったです。



・行事で着物を持ち出すごとに(洗濯の件もあり)着物類の保管場所が変わるので毎回在庫場所と枚数確認を保管表で確認して頂いていますがこれも手間な事です。

・午前中も部屋を借りて頂き希望者に着付けの練習が出来良かったです。当日着せる為の練習も出来有効に時間を使えました。

・JICAの人たちや参加者にあんなに喜んで頂けるとも遣り甲斐があり満足感を味わえました。

日本の着物はやはり喜ばれますのでこの行事には絶対必要ですね。

着物姿で茶道の体験を出来るのは良い思い出となった事でしょう。(N)

書道担当から

30周年記念のWorkshopの時、作成した資料を利用して臨みました。

とても要領のいい方もいて、もう少し難しい字も用意したほうがいいかなと思いました。

急遽、自分で彫った「友」の雅印が好評で幸せです。

以下は担当して下さったNさんの詳しい感想でご報告に変えさせていただきます。(N)



【Work Shopに参加して】

大雨の九州の雨雲が茨木に来ないことを祈りながらの当日でしたが、お昼前には太陽が顔を出し足元の心配のない一日でした。

開会式の一時間前に行くと、すでに多くの会員が夏の着物姿で着付と茶道の準備。紫陽花が活けられて一層味わいのある華やかな会場になりました。JICAの参加者がバスでご到着。いっぺんに空気が変わって、会員の意気込みのメーターが急上昇！この一瞬が大好きです、ドキドキ！！

持ち場のお習字の会場では少々不安げに研修員が席についています。「初めて？」「見たことはあるけど書くのは初めて。」「では練習を。」「んん～～、見て、手が震えてるよ！お手本書いて。」「今度は私が震える～～」

縦画、横画、左払い、右払いと練習して、好きな漢字一字を選んで色紙に清書。「土」という漢字を選ぶ研修員たち。soilの英訳から大地までイメージして選んだようです。今ふと思ったことは彼らの研修コースが上水道維持管理なら、「水」が漢字一覧にあったら良かったかも？後半では「王」のkingを選ぶ研修員たちが。アフリカらしい太くて立派な線を持つ字が書きあがりました。最後に押す赤い落款。色紙全体が締まって、いい感じ。その上「その赤い漢字はfriendの意味よ。」と伝えると、全員がOh～！と感嘆の声。このコーナー、最後までニクイね！！

研修員の方に「とてもよいお土産ができましたね」と言うと、「これは私の部屋に飾ります。誰にもあげません。」と返事が。手がふるえながら緊張しながら初体験をして、出来上がりに満足して作品を大事に持ち帰っていく研修員たち。そうか、このコーナーだけが記憶と写真だけでなく手元に残るものを提供できているのだと思うと、その意味での大切さを感じました。そして、コーナーの中での時間配分や指導方法、コーナー全体の流し方と互いのお手伝いのタイミングと、かなり完成されていることを実感。やはり、IINの会員の練れた国際理解の感覚というか、その成熟した国際交流感覚のゆとりをいたるところで感じる事ができました。私達は自信を持つ



ていいし、もっと胸を張っていいのですよね、きっと！

色紙入れのプラスチック、プリーズとお一人が言いだすと多くの方がビニル袋をとりこられましたので、次はその用意もすると汚れることなくそれぞれのお国に持って帰ることができますね。またまた完成度が上がってしまう！予算も使ってしまう!?

最後に、私だけ門外漢のど素人だったので、お習字の練習と説明時の英語訳を準備しなければと、痛感しました。

囲碁、花札などゲームコーナー

花札、剣玉、お手玉、だるま落とし、福笑い、百人一首、いろはカルタに併せ今回から男性会員の参加を促す為囲碁にも挑戦しました。但し囲碁は説明が難しく時間も取るので九路でスタート。担当係りの反省点を下記します。

1、最初、指導者のKさんも慣れないせいか、説明がこまかくなり時間配分が心配でした。

2 グループ目からは実演中心に切り替えスムーズに行くようになりました。

2、参加者ののみ込みが早く、実践の中でルールが説明できるのではないかと思います。

3、時間短縮のため、テキストは一枚程度でいいように思います。

おみやげで詳しい資料を渡し、帰ってから読んでもらうようにすればいいのかなあと感じています。

4、私の下見不足でNさん、Iさんにやっかいな碁盤を持たせてくることになり、反省しています。

5、もし次の機会があれば、やり方はかなり改良できると思います。

ピンと張り詰めた囲碁の横ではいつもの通り花札が大騒ぎ、猪鹿蝶のコンビネーション完成！！部屋移動待機組みには剣玉、だるま落とし、お手玉も大人気でした。(I)



茶道担当

今回はいつものお茶担当のメンバーの多くが都合がつかず、一時は「今回のお茶のワークショップは無し」と決まりました。しかし「茶道がないのは、残念。なんとかやりましょう」という声援を受け、茶道もすることになりました。

茶道ワークショップ開始までの時間を利用して、協力できる会員の方たちに練習してもらい本番に臨みました。練習の甲斐あって、お客さんの作法の見本やお茶を出したり引いたりとお上手でした。



た。

今回茶道初めての会員の提案で、説明の後、ゲストの方々に席を立ってもらいお手前近くに移動し茶道の手前を身近に見てもらいました。これは次回につなげる大きな改良点になりました。

お饅頭は茨木童子の印が入ったお饅頭にしました。茨木に縁があり説明しやすく、サイズ、食べやすさ、価格、お味もよ

く好評でした。お菓子や抹茶の購入には茶道担当者以外の会員にもお世話になり感謝しています。

また、お客さまには見えない水屋でお手伝いして下さった会員方々のテキパキした段取りがあればこそ、ゲストに茶道の雰囲気を感じて頂けたと思います。終了後茶道に興味をもたれた会員をおられ、「希望者に茶道を練習する機会があれば」と考えています。(K)



IIN の皆さま

いつもお世話になっております。

先日は、日本文化紹介ワークショップにて、研修員が大変お世話になりました。

研修の担当者が、昨日研修員に会った際には、研修員が嬉しそうにワークショップの写真を見せてくれたと話しておりました。

たくさんの日本文化を半日で体験することができ、研修員にとって、日本での忘れられない1日になったようです。

研修員がこのような貴重な経験をさせていただけたのは、IIN の皆さまのおかげでございます。

お忙しい中、企画・実施いただき、誠にありがとうございました。

ワークショップの実施のためにご協力いただきました皆さまに、どうぞよろしくお伝えください。

なお、一昨日のワークショップで撮影させていただいた写真を当方の Facebook に掲載させていただこうと考えております。つきましては、写真掲載につきましては、写っているメンバーの方、一人一人にご確認をとらせていただく必要はございますでしょうか。まだ、どの写真を掲載するかは決まっていないのですが、上記につきまして、ご検討くださいますようお願いいたします。確認が必要な場合には、写真が決まり次第、再度ご連絡をさせていただきます。

引き続きお世話になりますがどうぞよろしく願いいたします。独立行政法人国際協力機構 (Y)

Kon'nichiwa

I would like to thank you very much about this interesting day.I really enjoyed all your program but the time is limited. Every thing were interesting. I invite you in my country for Sudanese coffee ceremony.Please send my greetings to all the members especially Ms. Yamanoi

Arigato Gizaimasu. Best regards Mr. Hamdan Sudan

Good evening

Thank you for your hospitality and giving us the chance to experiment some of the Japanese culture...

We had a wonderful time in the Japanese lovely house today. The tee ceremony was very attractive

with the delicious Japanese dessert ,wearing the kimono ,practicing Japanese writing ,Japanese games ..Every thing was wonderful.

It's a day I will never forget,I Particularly liked the Japanese writing and the kimono, it was very beautiful,I never find the yellow color nice on me before today. Sure I will buy kimono before going back to my country. Thank you all so much for the time you gave to us and for your kindness. Hiyam Jordan



Greetings

We are so grateful for the time we had at the tea ceremony and getting to know Japanese culture. Your culture is amazing full of respect and honor. We enjoyed and learnt a lot. Truly a relationship between Kenya and Japan is now deeper. We truly appreciate for your time.

My only comments is; the learning and enjoying of Japanese calligraphy was too short and long for more time.

Otherwise grateful for everything.

Thank you. Kind regards, Kaume Christopher Murithi Kenya

花札にちなんであなたの国の言葉で花は？エチオピアの彼曰く ABEBA, えっ！では ADDIS ABEBA は花にちなんでいる？そう、新しい花という意味です。なるほど。

- Jordan ISSAM WARD
- Philippines BULAKLAK ROSE
- Ethopia ABEBA
- South Africa PALESA LELOMO
- Myanmar PADAUK
- Kenya ROSE
- Sudan ZAHRA
- India LOTUS
- Combodia CHOMPAR
- Azerbaijan QIZILGUL
- Australia WATTLE FLOWER
- D.R.Congo POLOLO
- South Sudan ZOHOR
- Malaysia BUNGA

